アジア開発銀行（ADB）との連携
TA-8456: 都市管理の変革　Part II 洪水管理」プロジェクト

近年の社会的および経済的活動の活発化により、ミャンマーでは急速な都市開発が予想されており、都市機能の改善やそれを管理する人材の強化が緊急に求められています。この開発プロセスを支援するために、アジア開発銀行（ADB）は「TA-8456: 都市管理の変革」を通じてミャンマー政府の都市管理能力開発を支援するプロジェクトを進めることを決定しました。また、2008 年のサイクロン・ナルギスによってミャンマーは大きな被害を受けたため、都市の将来の発展を阻害する可能性のある災害リスクを軽減するための準備・対応能力の向上も重要でした。したがって、TA-8456 では、Part I が水供給、衛生、廃棄物管理、排水などの一般的な都市管理に関する取り組みをカバーし、Part II が洪水管理に関する取り組みをカバーしました。

Part II でのプロジェクトの主な活動は以下の通りです。

・洪水および高潮に関連する水文気象分析
・洪水および高潮のリスク評価
・気象・水文局の能力開発
・洪水および高潮リスク評価に関連する組織の能力開発

ICHRAM は Part II のすべての活動を監督・指導しながら、Part II チームはミャンマー政府への洪水リスク評価と技術移転を実施し、ヤンゴン、マンダレー、モーラミャインの 3 つの選定都市の洪水リスク低減能力向上を支援しました。プロジェクトは 2014 年 7 月に開始され、2016 年 11 月までの 2 年 5 か月間継続しました。Part II では、ICHRAM は関連機関との会議やワークショップを開催することで、プロジェクトを包括的に進めるためにミャンマー政府との協力フレームワークを構築しました。

2016 年 5 月 23 日には最終ワークショップがミャンマーの首都ネピドーで開かれ、プロジェクトの成果を発表すると同時に、最終報告書作成を含め、活動の最終取りまとめについて議論しました。



写真 1　最終ワークショップでの集合写真